シュタイナー療育センター　春の研修会２０１５

フィルダークリニック治療教育家　ヤコビ氏から学ぶ

「シュタイナー治療教育の意味と実際」

期　間　：　平成２７年３月３１日（火）～４月４日（土）　　全５日間

会　場　：　板取会館　　長野県北安曇郡松川村３６５

日程表　　テーマ　１２感覚　―　世界への扉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | ３月３１日（火） | ４月１日（水） | ４月２日（木） | ４月３日（金） | ４月４日（土） |
| 9:00～11:00 | 触覚と生命感覚の発達とケア講師：ヤコビ | 聴覚と言語感覚、思考と自我感覚の発達とケア講師：ヤコビ | ダウン症の人間学的観点講師：ヤコビ | 自閉症スペクトラムの人間学的観点講師：ヤコビ | 障がいを持つ子供にかかわる大人の自己教育両親への励ましとサポート講師：ヤコビ |
| 11:10～12:10 | 感覚論理解のために講師：松田 | 森の工房施設見学社会セラピーとしての共同作業所 | オイリュトミー療法講師：石川 | オイリュトミー療法講師：石川 | 話し合いと質疑応答講師：ヤコビ |
| 昼休 |  |  |  |  |  |
| 13:40～14:40 | 光こども園施設見学 | オイリュトミー療法講師：石川 | オイリュトミー療法講師：石川 | オイルマッサージ療法講師：森尾 |
| 14:50～16:50 | 運動感覚と平衡感覚の発達とケア講師：ヤコビ | 中の感覚（嗅覚、味覚、視覚、熱感覚）と上の感覚（聴覚、言語感覚、思考感覚、自我感覚）の更なる見方講師：ヤコビ | ダウン症児の早期療育講師：ヤコビ | 自閉症児の早期療育『生の安心』『コミュニケーション力』『感情移入力』をどのように促すか講師：ヤコビ |

※この他、19:00～20:00に参加者交流会を数回予定しています。

講師紹介

フェッテメー・ヤコビ

治療教育家。音楽と言葉に重点を置く療育をおこなっている。ドイツ・ビンゲンハイムにて、シュタイナー治療教育者としての養成を受ける。１２年間の育児のあと、ドイツ・シュツットガルト近郊フィルダークリニックの救急小児病棟に現在まで勤務。９７年重度の障がい児（てんかん、自閉症、ADHD、不安・強迫障がい、情緒障がいなど）を保護者とともに受け入れる集中病棟を、マデレーン医師とともに設立。この病棟では、医師による診断・治療のほかに音楽療法、言語療法、芸術療法、オイリュトミー療法、マッサージ療法がおこなわれている。０５年、生後６か月から２歳半までの乳幼児を対象とした「遊びのクラス」を助産師とともに開設。

石川　公子（いしかわ　きみこ）

オイリュトミー療法士。８７年に渡独。治療教育、オイリュトミー療法の課程を終了しルール地方の総合病院ならびにシュタイナー学校で研修後、９９年に帰国。０８年より１年間、ドイツでアントロポゾフィー医学ゼミナールに参加。現在、東京、横浜を中心に病院や診療スペースなどでオイリュトミー療法をおこなう傍ら、健康促進を目的とした「健康オイリュトミー」や、人生を振り返り自らの生き方を見つめなおす「バイオグラフィーワーク」等の講座もおこなう。国際アントロポゾフィー医学ゼミナール講師。共訳に『医療と教育を結ぶシュタイナー教育』ミヒャエル・グレックラー著（郡青社）、『オイリュトミー療法講義』ルドルフ・シュタイナー著（涼風書林）がある。

森尾　敦子（もりお　あつこ）

一般社団法人シュタイナー療育センター代表理事。保育士として３０年の経験を持つ。８７～８９年ドイツのシュタイナー幼稚園教員養成所で学ぶ。９０年横浜シュタイナーこどもの園を設立。元日本シュタイナー幼児教育協会理事。娘が重度の障がいを持ち、シュタイナー治療教育を学ぶために０７年に一家で渡独し、マンハイムとビンゲンハイムにてシュタイナー治療教育を学ぶ。０９年に帰国し、１１年に長野県松川村に一般社団法人シュタイナー療育センターを設立。

松田　仁（まつだ　ひとし）

シュタイナー教育研究家。８３年ドイツ・シュツットガルト・シュタイナー学校教員養成ゼミナールを卒業。８３～８４年、ハンブルク・オイリュトミー学校にて研修をおこなう。０７～０８年ドイツ・マンハイム・シュタイナー教育自由大学にてシュタイナー治療教育課程を修める。０８～０９年ドイツ・ビンゲンハイム・シュタイナー養護教育施設で実習ののち帰国。一般社団法人シュタイナー療育センター職員。その他、長野県安曇野市近郊で小学生のためのシュタイナー教育クラスを開設している。